

2018年度「若者×ツナグバ」事業計画

1. 事業目的

青少年の最終ステージとも言うべき「社会人になる直前の若者」「社会に出て間がない若者」一人ひとりが、社会情勢を正しく認識し、多様な考え方を理解した上で、自分の納得できる生き方を見つけ、潜在能力を高め、選択肢を増やして希望につなげていくための「対話」「表現活動」「居場所づくり」等の活動を、「若者×ツナグバ」実行委員会に参画する市民活動団体との連携によって進めていくことを目的とする。2018年度については、「特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう」(三次市)、「特定非営利活動法人 三次おやこ劇場」(三次市)、「府中町地域活動青年団体 志楽蝶」(府中町)の3団体との連携を実施する。

2. 事業内容

(1) 実行委員会の開催 (年4回の開催)

- | | |
|------------|-------------------------|
| 第1回(5月) | 2017年度活動報告、今年度事業推進体制の確認 |
| 第2回(6~7月) | 今年度活動経過と課題 |
| 第3回(9~10月) | 今年度活動経過と課題 |
| 第4回(1~2月) | 2019年度事業計画および収支予算立案 |

(2) 実施プログラム

① 特定非営利活動法人 ほしはら山の学校「ツナグバカフェ」

a. 目的

- ✓ ワカモノの対話の場づくり。
- ✓ 参加したワカモノに、ほしはら山のがっこうなどのボランティア活動や自然体験、地域活動をつなげる。

我々の暮らしは自然とは切っても切れない関係にあり、自然に飛び込み、自然の中の自分の存在を学ぶ機会は全ての子ども・青年期に必要である。また、自分を取り囲む身近な社会の人々に関心を持つ機会も人材育成に欠かせないものであると同時に、対話を通して様々な考えの中で自分の意見を深めたり、人生を支える出会いや言葉に出会う機会を青年期までにもち、それからの人生のくじきや失敗を糧にできる土台をつくるチャンスが必要と考えている。

b. 活動内容

- ・たき火を囲むカフェ(冬はこたつを囲むカフェ)希望者は宿泊 計3回実施
- ・ボードゲームカフェ 計3回実施
- ・参加予定人数 ~15名(主に高校生~30代)

② 特定非営利活動法人 三次おやこ劇場「自分の手で、自分の居場所をつくろう! II」

a. 目的

- ✓ 現代の若者は、コミュニケーションをとるのが苦手で、生きづらさを感じている。自然の中での異年齢とのたっぷりとした遊びの減少で、自己肯定感が育ちにくい

と言われている。自分たちの居場所を自分たちで作るという過程では、苦手でもコミュニケーションをとらなければならない、楽しい体験の積み重ねで、自分自身を見つけていくことができるようになって考えている。

- ✓ いつでもふらりと立ち寄り、若者が本音で語り合い、自由を感じる居場所、カフェで語り合えることは、人と人がつながりにくい現代社会で、温もりの居場所となり、高齢化した地域とのつながりを深め、地域振興にも役立つと考えている。

b. 活動内容

・若者がいつでもふらりと立ち寄ることが出来、本音で語り合い自由を感じコミュニケーションをとる環境(語る場、カフェ)をつくる。若者×ツナグバで協力してくれた若者とのツナガリを活かす。

- 1) 石窯カフェを稼働させる(継続)。
- 2) 屋外にもうひとつの居場所をつくる(農業体験)。

③ 志楽蝶「青少年の居場所づくり」

a. 目的

- ✓ 従来より実施しているさまざまな地域支援活動の推進に加え、青少年の新たな居場所をつくることで、他世代交流を活発にし、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力を含む個々人のスキル向上を実現し、新たなコミュニティ開拓、ひいては地域発展に繋げていけるよう、府中町に若者の風を吹かせる。

b. 活動内容

- ・志楽蝶事務所兼活動場所「志楽蝶 BASE」の運営
- ・ヒーローショー「ツバキマン」公演(於児童センターバンビーズ等、定員 100 名)
- ・ネットラジオ「志楽蝶ラジオ」(志楽蝶 BASE)
- ・青少年しゃべり場運営(於志楽蝶 BASE、定員 10 名)
- ・スポーツ大会(於くすのきプラザ、定員 30 名)
- ・地域イベントへの参加、地域イベント等での音響照明担当
- ・志楽蝶ラジオのリスナーの夢をかなえるプロジェクト

(3) 「若者×ツナグバ」事業報告書作成

3. 主催

特定非営利活動法人 ほしはら山のがっこう、特定非営利活動法人 三次おやこ劇場、府中町地域活動青年団体 志楽蝶、公益財団法人 マツダ財団

4. 実施主体

「若者×ツナグバ」実行委員会